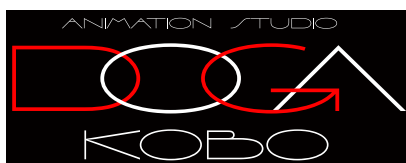


CHALLENGE

新しい挑戦、そして成長市場へ



▶ 01 社長メッセージ

▶ 08 特集

**2024秋～冬 注目ラインアップ
(出版・映像)**

▶ 10 トピックス

▷ 出版マンガAI翻訳のイノベーションカンパニー「Mantra」に出資
海外展開 IP点数の増加および多言語翻訳を強化

▷ 『【推しの子】』などを手掛けるアニメ制作スタジオ(株)動画工房を子会社化
グループ内製化を推し進め、作品クオリティや制作数のさらなる向上を目指す

▷ 世界的大ヒットを記録した『ELDEN RING』のダウンロードコンテンツ『SHADOW OF THE ERDTREE』が発売から3日間で世界累計売上本数500万本を突破!

▷ 日本最大級のコスプレイベント『池袋ハロウィンコスプレフェス2024』開催
過去最高の16万1千人が来場

▷ 2025年4月に「ZEN大学」開学が決定、「R高等学校」も開校準備中
多様な教育機会を提供するEdTechカンパニーとしてさらなる事業拡大を目指す

▷ 「KADOKAWA統合報告書2024」を公開
IP創出やメディアミックスなどKADOKAWAグループの魅力の特集

▶ 16 連結財務諸表(要旨)

▶ 17 セグメント別 売上高・営業利益

▶ 18 取締役一覧/株式の状況

社長メッセージ



取締役
代表執行役社長 CEO
夏野 剛

逆風に負けず力強い業績伸長 IP価値の着実な高まりにより、長期的な企業価値向上へ

2025年3月期中間期連結実績



当社は6月のサイバー攻撃に係る事案発生以降、影響を受けた事業活動の復旧に全力で取り組んでまいりました。この結果、出版・IP創出事業では、影響を受けていた既刊の出荷量が8月には平常時の水準に回復しています。また、Webサービス事業でも8月より複数の主要サービスを段階的に再稼働しており、9月以降は概ね平常通りに復旧しています。

この結果、2025年3月期中間期の連結実績は、売上高1,363億20百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益106億26百万円(前年同期比23.5%増)、経常利益97億71百万円(前年同期比4.1%増)となりました。上記のサイバー攻撃に起因する業績影響が発生した一方で、出版・IP創出セグメントの電子書籍やライセンス収入、アニメ・実写映像セグメント、ゲームセグメント、教育・EdTechセグメントといった当社の成長領域の堅調な成長が同影響を吸収し、

社長メッセージ

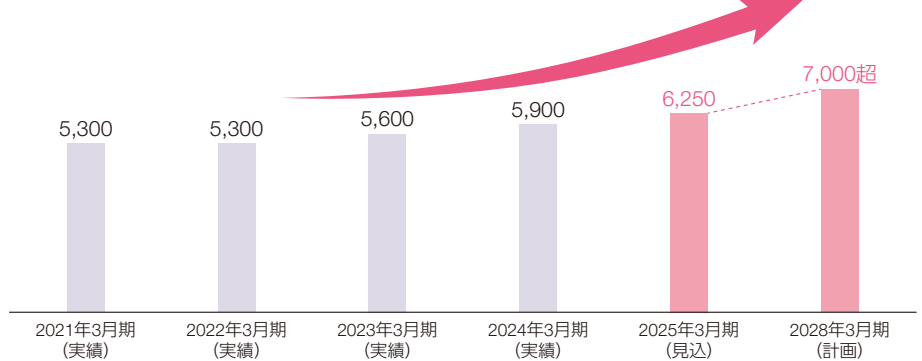
またアニメ作品のクオリティ向上・制作キャパシティの安定化に資する制作スタジオの内製化については、『【推しの子】』や『時々ボソッと

ロシア語でデレる隣のアーリャさん』を手掛ける(株)動画工房がグループ入りし、将来の内製化率向上に向け着実に進捗しています。

出版IP創出計画

- システム障害の影響によりボーンデジタル作品などに一部遅延は生じたが、28/3期目標 7,000点超に向け、出版IP創出は順調に進捗
- 出版IP ジャンル拡充比率
(21/3期実績 → 25/3期見込)
全体 116.5%
コミック 146.9%
ボーンデジタル 148.9%

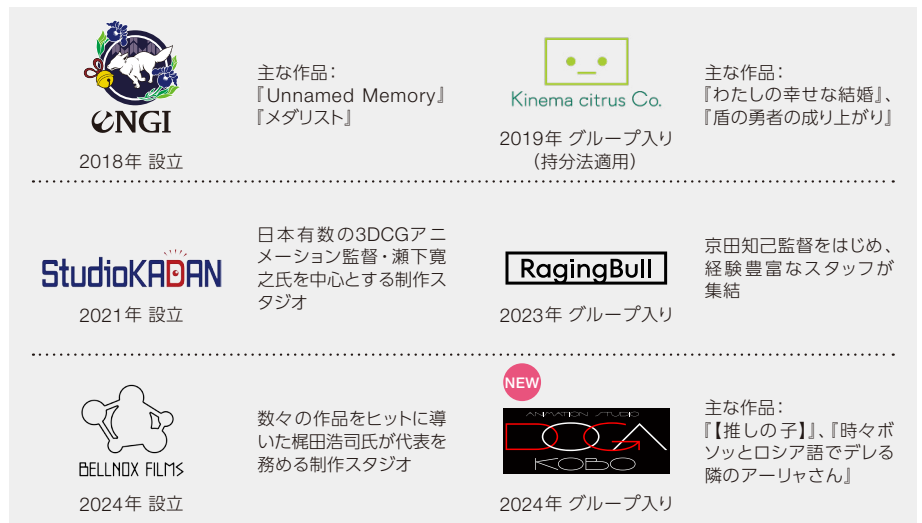
■ 出版IP数



アニメIPのグループ内製化

- 2024/10～ (株)動画工房が子会社としてグループに参加、作品クオリティや制作数の維持・向上に向けた内製化が進捗
- グループ内の連携やシステム共通化により、制作の効率化や人材育成の強化、就労環境の改善に取り組む

■ グループのアニメ制作スタジオ(5+1=計6社体制へ)

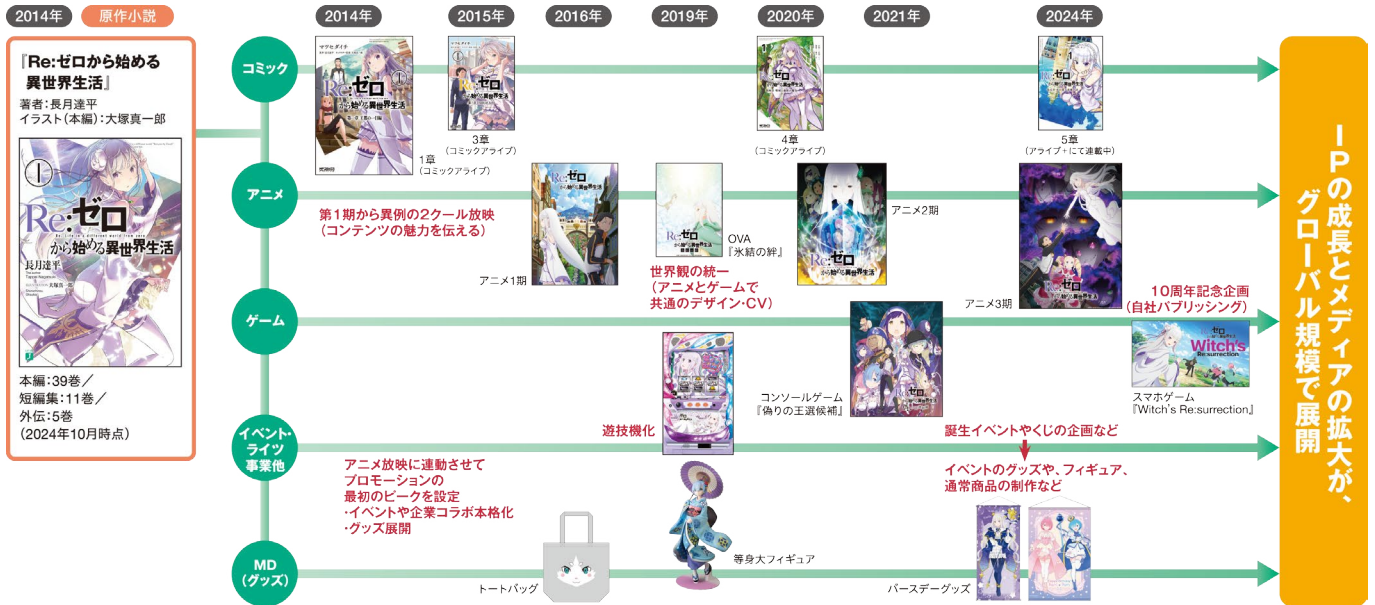


IPのLTV最大化に向けては、『Re:ゼロから始める異世界生活』に代表されるように、当社の原作書籍をアニメ、ゲーム、グッズなどさまざまな形で世界中に展開するグローバル・メディアミックスを通して、IPのロングライフ化

が進展しています。その成果として、当社が手掛けるIPのうち、年間の売上高が10億円を超える大型IPは年々増加しており、特に近年はその増加スピードが加速しています。

LTV最大化・IP価値を最大化するグローバル・メディアミックス展開

『Re:ゼロから始める異世界生活』（『リゼロ』）の事例：Web掲載の小説をライトノベルとして書籍化し、コミック・アニメ・ゲーム・グッズなど、全方位的にメディア展開。その相乗効果で大人気作品となり、10周年を迎えた2024年現在も世界中でファンを獲得し続け、長期的な展開（LTV最大化）のモデルに

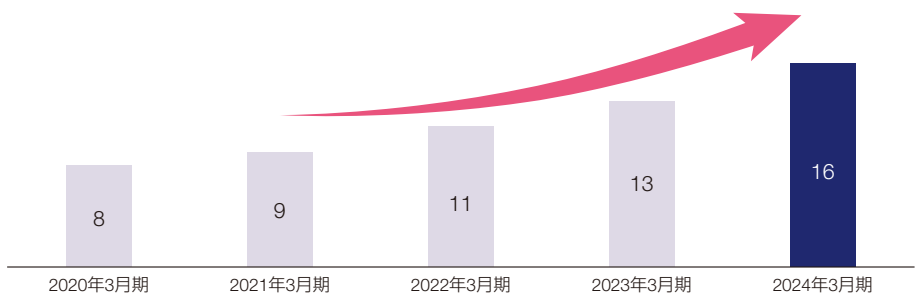


©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活1製作委員会 ©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活2製作委員会 ©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活3製作委員会 ©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活製作委員会 ©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活2製作委員会 Licensed to and Published by Spike Chunsoft Co., Ltd. ©長月達平・株式会社KADOKAWA刊 ©KADOKAWA/Akatsuki Inc. ©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活製作委員会 ©DAITO GIKEN,INC.

IP大型化の進捗

- 作品の世界的な人気が高まり、IPの大型化が着実に進行
- 一つひとつの作品を世界中のより多くのファンに届けるため、グローバル・メディアミックスをグループ一体で推し進める

■ 大型IP数 実績推移 (KADOKAWA単体売上高 年間10億円超のIP数)



今後もこの戦略を推し進め、より一層IP価値の最大化に努めることで、中期経営計画最終年度の計数目標達成を目指すとともに、さらにその先の業績拡大に向けてチャレンジし

続ける会社でありたいと考えています。今後とも、変わらぬご支援とご声援をよろしくお願い申し上げます。

大規模サイバー攻撃によるシステム障害の影響と対応について

2024年6月8日に発覚した当社グループデータセンター内サーバーへのサイバー攻撃の影響により、株主の皆さまをはじめ、関係する全ての方々に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社では、本事案の発生以降、被害状況の全容の把握と復旧に向けて、調査と対応を進めてまいりました。これまでの経緯、進捗についてご説明いたします。

◆ 事業活動への影響と現在の状況

本事案発生以降、既刊の出荷が3分の1になるなどの影響を受けた出版事業では、既刊出荷量は平常時の水準に回復、重版製造も平常状態に回復しております。

さらに、事案発生以降サービス全般が停止したWebサービス事業の「ニコニコ」においても、主要サービスは全面復旧しております。

◆ 情報漏洩と二次被害抑止の状況

当社グループでは本事案の発生時以降、社外の大手セキュリティ専門企業の支援を受けながら、情報漏洩の可能性および漏洩した情報の範囲を把握するための調査を鋭意進めてまいりました。その調査結果として、合計261,956人の個人情報や企業情報の外部漏洩が発生したことを確認しております。お客様をはじめ関係する全ての皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

なお、匿名掲示板やSNSなどで、サイバー攻撃を行ったとされる組織が公開したものとして、情報を拡散する行為が確認されています。当社グループはこれら行為に対し、関係する全ての皆さまの二次被害を最小限に抑え、プライバシーをはじめとする権利利益を保護するために、厳正に対応してまいります。

◆ 再発防止策

今後の再発防止策として、セキュリティ専門企業による助言およびチェックを元に主要な対策をすでに実施し、その他についても計画通り対応を進めています。また、別のセキュリティ専門企業からも、「当社が今回の原因を適切に評価し、各種対策の導入と推進に適切に取り組んでおり、それは事業復旧に必要と認められる基準を満たしている」旨の評価を得ております。

当社では、これまでも情報セキュリティを重視し対策を講じてきましたが、今回のインシデントが起こった事実を重く受け止め、現在推進中の再発防止策に限らず、今後も引き続きセキュリティ体制の強化に努めてまいります。

株主の皆さまをはじめ、関係する全ての方々に多大なご不便とご迷惑をおかけしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

今後、当社グループは本事案によって受けた影響の早期の巻き返しを図り、事業の持続的な成長を目指してまいります。

公正取引委員会からの勧告について

当社および当社の100%子会社である㈱KADOKAWA LifeDesign (以下、LifeDesign)は、2024年11月12日に、公正取引委員会から、下請代金支払遅延等防止法 (以下、下請法)の適用対象となる事業者との取引に関して、下請法に基づく勧告 (以下、本勧告)を受けました。

本勧告に直接関わる全ての方々をはじめとする、多くの関係者に多大なるご迷惑をおかけする事態となりましたことを深くお詫び申し上げます。

◆ 本勧告の概要

本勧告では、当社およびLifeDesignは、雑誌「レタスクラブ」の発行事業に係る記事作成および写真撮影業務に係る発注単価 (以下、本発注単価)について下請事業者26名 (以下、本下請事業者)と十分な協議を行うことなく一方的に決定したと認定され、当該行為が下請法第4条第1項第5号に掲げる行為 (下請事業者の給付の内容と同種又は類似の内容の給付に対し通常支払われる対価に比し著しく低い下請代金の額を不当に定めること)に該当すると判断されました。

◆ 本勧告への対応

本勧告の対象となった本発注単価は2023年4月発売号の取引から適用されており、本勧告を受け、当社およびLifeDesignは本下請事業者との間で十分に協議したうえで発注単価の見直しを行ってまいります。

また当社およびLifeDesignは、新たな本発注単価が確定次第速やかに、2023年4月発売号分までさかのぼって、当該本発注単価と支払済下請代金との差額に相当する金額を、本下請事業者に対してお支払いいたします。なお、本下請事業者に対しては、すでに上記についてご連絡をさせていただいております。

当社グループは、本勧告を真摯に受け止め、今後同様の問題が発生することのないよう、本勧告の内容を役員および従業員に周知徹底するとともに、改めて下請法に関する社内研修の実施、各種社内手続きの検証、継続的なモニタリングなどを通じて、さらなるコンプライアンスの強化と再発防止に取り組み、法令遵守を徹底してまいります。

特集

2024秋～冬 注目ラインアップ(出版)

2024年度の秋から冬における出版ジャンルの注目作品をご紹介します。
国内累計発行部数1,500万部を突破する大人気コミック『よつばと!』最新刊や、
メガヒット・ライトノベル『涼宮ハルヒ』シリーズの最新作など見逃せない作品が揃っています。

よつばと! 16巻

コミック



※写真は前巻のカバーです

ちょっと変わった5歳の女の子「よつば」と、とーちゃんのみたり暮らしを中心に、何気ない日常を描いた作品。よつばにかかれば、なんでもない毎日も驚きと発見に満ち溢れた楽しすぎる日々。合言葉は、いつでも今日が、いちばん楽しい日! 2025年2月発売予定。

文豪ストレイドッグス 26巻

コミック



※写真は前巻のカバーです

シリーズ累計1,400万部を突破した大人気文豪異能力バトルアクション。太宰の策略により死亡したと思われたドストエフスキーは、自身の異能力により突如空港に現れた。彼は聖剣を以って異能力の特異点を引き起こし——!? 2025年2月発売予定。

涼宮ハルヒの劇場

ライトノベル



涼宮ハルヒが帰ってきた! 累計2,000万部突破のメガヒット作、待望の最新刊。ファンタジー世界、宇宙空間、西部劇、神話世界——シリーズ最新作は時と世界を駆け巡る冒険スペクタクル長編! 2024年11月29日、全世界同時発売。

四つ子ぐらし 20巻

児童書



※写真は前巻のカバーです

シリーズ累計221万部を突破した、小学生がいま一番読んでいる児童文庫シリーズ最新巻。生まれてすぐに引き離され別々の場所で育った四つ子の四姉妹が、奇跡的に再会し、行方不明の母が残した秘密の暗号に挑む! 2025年3月発売予定。

すごすぎる天気の本
防災の超図鑑

実用書



日本で災害が起きない場所はない! 気象学者の荒木健太郎氏が、大雨・台風・地震・噴火などが起こる仕組みをイラストでわかりやすく解説。正しい知識と具体的な対処法満載で、きたるべき自然災害に備えられます。2025年2月発売予定。

ユビキタス

文芸

ホラー小説の旗手・鈴木光司氏による待望の新刊! 東京都内で発生した連続変死事件を追う、ジャーナリストの前沢恵子と葉月有理は、死者の共通点が「南極深層の氷」にあることを突き止める。そして、20年前、同様の変死事件が新興宗教団体の中で起きていたことをも知る。異端の物理学者・露木真也は、恵子の調査に協力する過程で、かつての後輩・麻生敏弘が研究していた「ヴォイニッチ手稿」の真実が、一連の事件に深く関わっていることに気づく。2025年3月発売予定。

2024秋～冬 注目ラインアップ(映像)

2024年度の秋から冬におけるアニメおよび実写映像の注目作品をご紹介します。

『Re:ゼロから始める異世界生活』の新シーズンや『メダリスト』を含めたアニメ、人気コミック『山田くんとLv999の恋をする』の実写映像作品など、見逃せない作品が豊富に揃いました。

メダリスト

アニメ



「次にくるマンガ大賞2022」コミックス部門1位、「第48回講談社漫画賞」受賞の話題作、『メダリスト』がTVアニメ化! 1月4日よりテレビ朝日系“NUMAnimation”枠にて放送開始!

2025年1月4日放送開始

©つるまいかだ・講談社/メダリスト製作委員会

わたしの幸せな結婚(第2期)

アニメ



シリーズ累計900万部突破の和風シンデレラ・ストーリー。原作小説からコミカライズ、実写映画化、アニメ化、舞台化とマルチメディア展開を成功させてきた大人気作品のTVアニメシリーズの続編が放送・配信決定!

2025年1月6日放送開始

©顎木あくみ・月岡月穂/KADOKAWA/「わたしの幸せな結婚」製作委員会

Re:ゼロから始める異世界生活 3rd season

アニメ



全世界シリーズ累計部数1,300万部突破、長月達平による人気ライトノベルが原作のTVアニメ『Re:ゼロから始める異世界生活』。待望の3rd season【襲撃編】が2024年10月より放送中!

2025年2月5日より【反撃編】放送開始

©長月達平・株式会社KADOKAWA刊/Re:ゼロから始める異世界生活3製作委員会

六人の嘘つきな大学生

実写映像



嘘つきは——誰? 怒涛のどんでん返しにあなたも翻弄される——浜辺美波、赤楚衛二、佐野勇斗、山下美月、倉悠貴、西垣匠、大ヒット小説を豪華キャストで実写映画化! ノンストップツイストエンタテインメント!

2024年11月22日(金)より絶賛公開中!

©2024「六人の嘘つきな大学生」製作委員会

ふしぎ駄菓子屋 銭天堂

実写映像



お客さまのかなえない願いは何でござんす? 幸運な人だけが辿り着ける“銭天堂”を舞台に、願いが叶う「ふしぎ駄菓子」を買った人々の顛末を描くヒューマンストーリーを天海祐希、上白石萌音、大橋和也、伊原六花ほか豪華キャストで実写映画化!

2024年12月13日(金)公開

©2024 映画「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」製作委員会

山田くんとLv999の恋をする

実写映像



失恋中の大学生・茜(山下美月)がネトゲで出会ったのは、超塩対応の高校生プログラマー・山田(作間龍斗)。無愛想で冷たいやつだと思っていた山田は実は“最強ギャップ男子”だった! 史上最高難易度の山田との恋は攻略できるのか!?

2025年3月28日(金)公開

©ましろ/COMICSMART INC.
©2025「山田くんとLv999の恋をする」製作委員会

トピックス

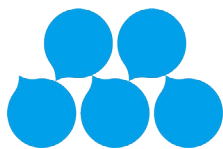


出版マンガAI翻訳のイノベーションカンパニー「Mantra」に出資 海外展開IP点数の増加および多言語翻訳を強化

KADOKAWAグループは、基本戦略である「グローバル・メディアミックス with Technology」のもと、中期経営計画の最終年度である2028年3月期に連結売上高3,400億円、うち海外売上高700億円(海外売上高比率約20%)の達成を目指し、グローバル展開を強化しています。

海外のコンテンツ市場において日本発のライトノベルやマンガなどの人気が高まっている環境下で、当社グループでは欧米やアジア地域を中心とした現地法人設立や翻訳体制の

強化などを進め、現地法人における新刊刊行点数を着実に増加させてきました。2024年3月末時点で29の翻訳言語でグローバルに書籍を展開してきた中、原作発売から多言語展開までのリードタイムや、それによる海賊版リスクといった課題が存在しています。今回のMantra(株)への出資を通してマンガAI翻訳のテクノロジーを活用することにより、翻訳者の業務効率向上や対象作品の増加による多言語展開のスピードアップに取り組んでまいります。



MANTRA

Mantra(株)について

2020年設立。マンガに特化したAI技術の研究開発を通じて、高速なマンガ翻訳を実現する翻訳ツール『Mantra Engine』、マンガを用いた英語多読学習アプリ『Langaku』などのサービスを提供するベンチャー企業です。これらの成果により、HONGO AI Award (2019)、週刊東洋経済『すごいベンチャー100』(2020)、AAMT長尾賞(2021)、JEITAベンチャー賞 Early edge賞(2022)等を受賞しています。



Mantra(株)公式サイト
<https://mantra.co.jp/>

トピックス



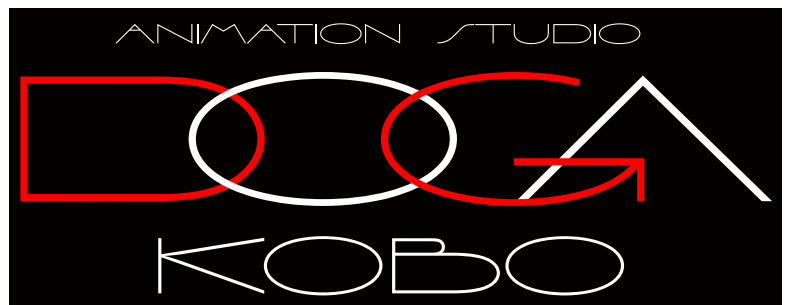
『【推しの子】』などを手掛けるアニメ制作スタジオ(株)動画工房を子会社化 グループ内製化を推し進め、作品クオリティや制作数の さらなる向上を目指す

KADOKAWAグループが掲げるメディアミックス戦略の中心となるアニメ事業では、中長期戦略として作品のクオリティ向上・制作数増加を目的に、グループ内製化率向上を推進しています。

その中で、豊富な制作実績を持ち、多くのヒット作を手掛ける(株)動画工房が子会社としてグループに参加しました。魅力的なキャラクター描写や作品自体の世界観を巧みに表現する同社の丁寧な作画は、世界中

のアニメファンから高い評価を受けています。KADOKAWAとの約10年にわたる良好な関係の中でも、さまざまな作品を生み出しており、2023年に放映した『【推しの子】』は歴史的な大ヒットを記録し、国内外で大きな話題となりました。

今後はさらに同社との連携を深め、アニメIPのラインアップ拡大を図り、中長期におけるアニメ事業のさらなる成長を目指してまいります。



『【推しの子】』
©赤坂アカ×横槍メンゴ/
集英社・【推しの子】製作委員会



『時々ボンッとロシア語でデレる隣のアーリャさん』
©Sunsunsun, Momoco/KADOKAWA/Alya-san Partners



(株)動画工房公式サイト
<https://www.dogakobo.com/>

トピックス



世界的大ヒットを記録した『ELDEN RING』の ダウンロードコンテンツ『SHADOW OF THE ERDTREE』が 発売から3日間で世界累計売上本数500万本を突破!

(株)フロム・ソフトウェアと(株)バンダイナムコエンターテインメントの共同開発により2024年6月に発売した『ELDEN RING』ダウンロードコンテンツ『SHADOW OF THE ERDTREE』が、発売から3日間で世界累計販売本数500万本を突破し、その後も順調に伸ばしています。

本作では、新たな舞台「影の地」での物語が描かれ、謎と危険に満ちた多彩なシチュエーション、新たに加わった武器や防具の数々、そし

て自由度の高い冒険をお楽しみいただけます。

今後も、世界中のファンに、より一層長く深く遊んでいただけるよう『ELDEN RING』のLTV最大化を目指してまいります。

本作のほか、『SEKIRO』『ARMORED CORE VI FIRES OF RUBICON』など、世界的なヒットを生み続ける(株)フロム・ソフトウェアの今後に引き続きご期待ください。



©Bandai Namco Entertainment Inc. / ©2024 FromSoftware, Inc.

『ELDEN RING』とは

『ELDEN RING』は、本格的なダークファンタジーの世界を舞台にしたアクションRPGです。(株)フロム・ソフトウェアの開発力と、(株)バンダイナムコエンターテインメントの海外ネットワークを駆使したマーケティング力を掛け合わせた本作は、2022年2月25日の発売から世界累計出荷本数*が2,500万本を突破しました。また、「The Game Awards 2022」をはじめとする世界の主要4大ゲームアワードやそのほか著名なアワードにて、数多くの賞を獲得しました。

*ダウンロード版およびPCゲームプラットフォーム「Steam」からのダウンロードを含みます。



『ELDEN RING』公式サイト
<https://www.eldenring.jp/index.html>

トピックス



日本最大級のコスプレイベント 『池袋ハロウィンコスプレフェス2024』開催 過去最高の16万1千人が来場

(株)ドワンゴと(株)アニメイト、(株)ハコスタが企画する池袋ハロウィンコスプレフェス実行委員会は、コスプレイヤーの大規模ハロウィンイベント『池袋ハロウィンコスプレフェス2024 Powered by dwango』を10月25日(金)～27日(日)の3日間にわたり開催し、来場者数は過去最高の16万1千人となりました。

11年目を迎えたイベントには日本全国からコスプレイヤーやカメラマンが集結。ステージでは人気キャラクターのコスプレで登場した豊島区の高際みゆき区長らの登壇のほか、参加者がコスプレを披露する「ニコニコスプレクション」や「親子でハロウィン」など、幅広い

層が楽しめるプログラムが行われました。

また、イベントの目玉として約400名のコスプレイヤーによるパレードも開催され、池袋の街を華やかに彩る圧巻の光景に、集まった多くのギャラリーからは歓声があがりました。

今年は海外からの参加者も多く、国際色豊かなイベントとしての魅力が一層高まっています。

池袋ハロウィンコスプレフェスは、今後もコスプレという日本を代表するサブカルチャーを、より多くの方に安心安全に楽しんでいただくとともに、さらなる地域活性化に取り組んでまいります。



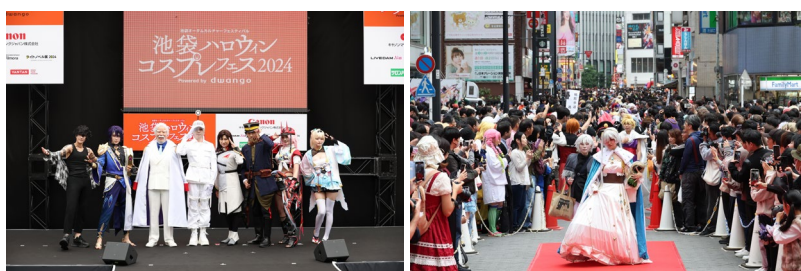
『池袋ハロウィンコスプレフェス』とは

『池袋ハロウィンコスプレフェス』は、東京都豊島区池袋を舞台に、毎年2万人以上のコスプレイヤーが参加する日本最大級のハロウィンイベントです。

自身がコスプレイヤーとして楽しむだけでなく、コスプレイヤーとの撮影を楽しむカメラマン、ステージの観覧・自作コスプレアイテム体験コーナーでコスプレイヤー気分を味わうなど、参加する全ての皆さまにさまざま楽しんでいただけるイベントとして開催しています。



『池袋ハロウィンコスプレフェス2024』公式サイト
<https://ikebukurocosplay.jp/>



トピックス



2025年4月に「ZEN大学」開学が決定、「R高等学校」も開校準備中 多様な教育機会を提供するEdTechカンパニーとして さらなる事業拡大を目指す

学校法人角川ドワンゴ学園が運営するN高グループは、インターネットと通信制高校の制度を活用した「ネットの高校」として2016年の「N高等学校」の開校以来、「S高等学校」の設立や通学コース向けキャンパスの継続的な新設を経て、生徒数は堅調に増加し2024年9月末時点で30,648名となりました。この生徒数の増加を受け、さらなるニーズに応えるため、N高グループで3校目となる「R高等学校」の2025年4月の開校に向けた準備を進めています。

また、(株)ドワンゴと公益財団法人日本財団が連携して設置を進める「ZEN大学」が2025年4月に開学します。ZEN大学は、最先端のIT技術を活用し、全ての人に大学進学を提供する日本発の本格的なオンライン大学

です。唯一の学部である「知能情報社会学部」では、特定の学問領域に偏らず、激変するAI時代に対応して活躍するために必要なリテラシーを身につけることができます。N高グループからの進学やKADOKAWAグループの一員である(株)バンタンとの連携に加え、社会人なども含めた幅広い層の学生数増を期待しています。

今後も、R高等学校の開校およびZEN大学開学によるさらなる生徒数・学生数の増加により、教育事業の継続的な成長を図るとともに、N高グループ、バンタン、ZEN大学間での連携強化を通して多様な人材育成に取り組み、当社グループも含めクリエイティブ業界への人材輩出も目指してまいります。



「R高等学校」公式サイト
https://nnc.ed.jp/high_school_feature/r_high_school/



「ZEN大学」公式サイト
<https://zen.ac.jp/>



「KADOKAWA統合報告書2024」を公開 IP創出やメディアミックスなどKADOKAWAグループの魅力を集

当社は2024年10月に「KADOKAWA統合報告書2024」を公開しました。KADOKAWAグループの強みや事業活動の全体像とともに、KADOKAWAグループが持つ資本から生み出す価値の創造プロセスや2023年11月に公表した中期経営計画における重点施策とその進捗、コーポレート・ガバナンス改革の状況などについて、あらゆるステークホルダーの皆さまに深くご理解いただくことを目指しました。

また、特集として「KADOKAWAグループの魅力」と題し、どのようにメディアミックスの源泉である出版IPを創出し、IPの価値を最大化し、そしてグローバルに展開しているのか

を、事業に直接関わる担当者のコメントなどを交えながらご紹介しています。本特集をご覧くださいことで、世界中から才能を発掘し、IPを生み出し、さらにその価値を最大化するプロセスに一貫して関わるとい、世界のコンテンツ産業におけるKADOKAWAグループのユニークさや存在の意義についてご理解を深めていただけると幸いです。

今後も透明性の高い情報発信を通じてステークホルダーの皆さまとの信頼関係強化に努めるとともに、持続的な企業価値向上と社会課題の解決を目指してまいります。

「KADOKAWA統合報告書2024」

<https://group.kadokawa.co.jp/ir/integratedreport/>



KADOKAWA
統合報告書2024

KADOKAWAグループとは

KADOKAWAグループの強み

IPの誕生から成長までのあらゆる場面に關することで、IP価値の最大化を目指す

KADOKAWAグループは、強みの根となる「人材(人的資本)」「クリエイティブ」「テクノロジー」「テクノロジー」を基盤として、作家・クリエイターの専業主業にIP(Intellectual Property)をつくり出す。書店をはじめ流通事業の強みにより「ユーザーに届ける」、コミュニティをつくり「ファンをつなげる」、新たなIP創出のための「才能を見つける・育てる」という4つのアクションを推進しています。この4つのアクションによって、多様な事業をつなげるなか、KADOKAWAグループだからこそ実現可能な価値の最大化に取り組んでいます。

① 人材(人的資本)

多種多様な分野に精通した人材集団
グループは700,000人の従業員がそれぞれ専門性を活かし、互いに連携しています。

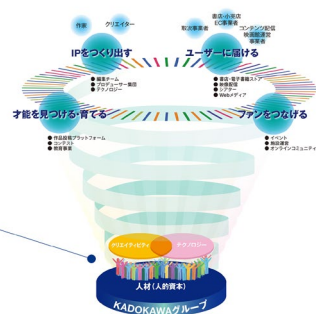
② クリエイティブ

IPを創出する力の源泉

出版事業で500以上の新刊を発行するほか、オリジナルアニメや実写映画、世界でベストを記録したオリジナルゲームなどを生み出しています。

③ テクノロジー

グループの力を最大化する先端技術
DX、VR、生成AIまで、テクノロジーの力によりユーザーをさまざまなカタチで世界中のユーザーに届けています。



「KADOKAWA統合報告書2024」の見どころ

- KADOKAWAグループの「価値創造プロセス」
- 中期経営計画の重点施策を可視化する2つの特集
 - (1) 多種多様な新規IPをつくり出す取り組みを紹介する「7,000点のIPを創出する力」
 - (2) メディアミックスとグローバルへの展開で、IPのLTV向上を目指す取り組みを紹介する「IP価値を最大化するグローバル・メディアミックス展開」
- コーポレート・ガバナンスの進捗を説明する「ESG情報 ガバナンス」「社外取締役メッセージ」

連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書

	単位:百万円	
	2024年3月期 第2四半期(累計) 2023年4月1日～ 2023年9月30日	2025年3月期 第2四半期(累計) 2024年4月1日～ 2024年9月30日
売上高	124,207	136,320
売上原価	83,138	86,038
売上総利益	41,068	50,281
販売費及び一般管理費	32,464	39,654
営業利益	8,604	10,626
営業外収益	3,737	1,731
営業外費用	2,952	2,586
経常利益	9,389	9,771
特別利益	250	2,664
特別損失	242	3,200
税金等調整前中間純利益	9,397	9,235
親会社株主に帰属する中間純利益	4,125	3,096

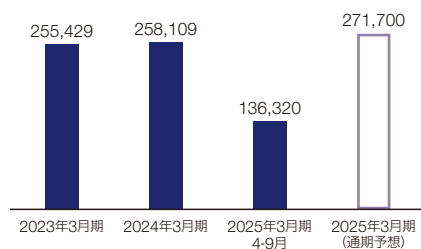
連結キャッシュ・フロー計算書

	単位:百万円	
	2024年3月期 第2四半期(累計) 2023年4月1日～ 2023年9月30日	2025年3月期 第2四半期(累計) 2024年4月1日～ 2024年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,953	△2,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,832	2,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,779	△4,849
現金及び現金同等物の中間期末残高	57,948	74,392

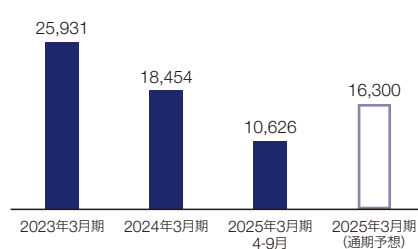
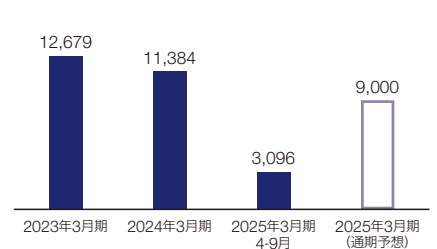
連結貸借対照表

	単位:百万円	
	2024年3月31日	2024年9月30日
資産の部		
流動資産	221,448	214,360
固定資産	118,862	123,569
資産合計	340,310	337,929
負債の部		
流動負債	97,378	106,116
固定負債	30,365	16,331
負債合計	127,744	122,448
純資産の部		
株主資本	177,964	177,053
その他の包括利益累計額	12,629	13,125
新株予約権	—	1,179
非支配株主持分	21,973	24,122
純資産合計	212,566	215,481
負債純資産合計	340,310	337,929

売上高 (百万円)



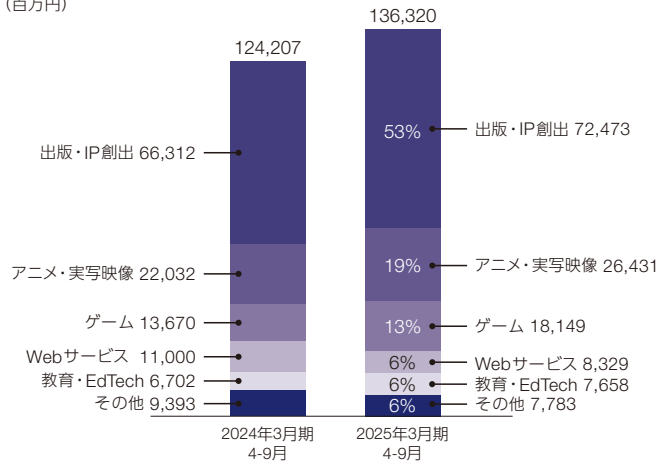
営業利益 (百万円)

親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)

セグメント別 売上高・営業利益

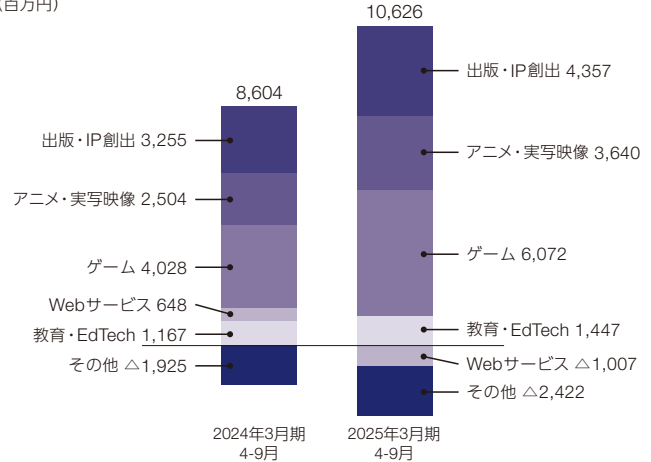
セグメント別売上高構成

(百万円)



セグメント別営業利益構成

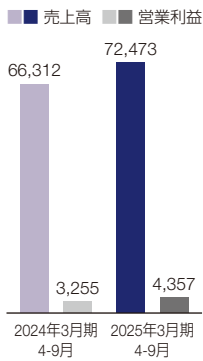
(百万円)



※セグメント別売上高構成比はセグメント間の内部取引を含んでおります。セグメント別売上高構成比を算出するための分母である連結売上高は同内部取引が消去されるため、セグメント別売上高構成比の合計値は100%にはなりません。

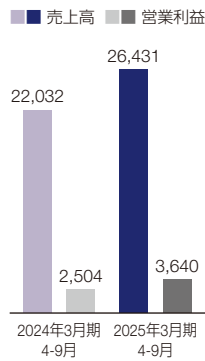
出版・IP創出

(百万円)



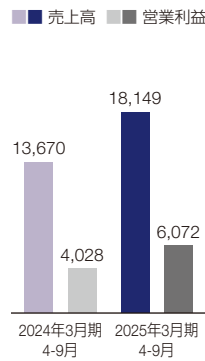
アニメ・実写映像

(百万円)



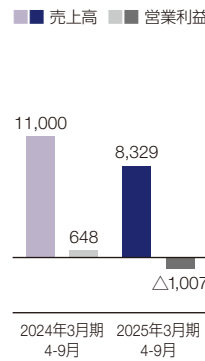
ゲーム

(百万円)



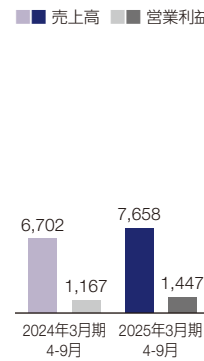
Webサービス

(百万円)



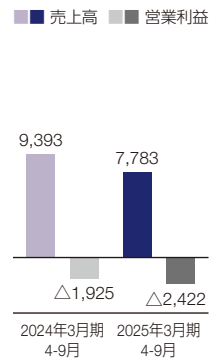
教育・EdTech

(百万円)



その他

(百万円)



2025年3月期通期見通し

単位:百万円

	2024年3月期 通期実績		2025年3月期 通期見通し	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
出版・IP創出	141,967	10,360	155,000	12,400
アニメ・実写映像	46,060	4,574	49,000	4,700
ゲーム	25,351	7,950	27,500	5,600
Webサービス	21,399	362	18,000	△1,600
教育・EdTech	13,390	1,727	15,000	2,000
その他	20,298	△4,399	18,300	△3,900
全社・消去	△10,358	△2,120	△11,100	△2,900
合計	258,109	18,454	271,700	16,300

取締役一覧

2024年9月30日現在

取締役

夏野 剛
山下 直久
村川 忍
加瀬 典子
川上 量生
周 欣寧

社外取締役

鵜浦 博夫
ジャーマン・ルース マリー
杉山 忠昭
笹本 裕
芝 昭彦
宇澤 亜弓
マクドナルド デービット
岡島 悦子

KADOKAWAグループの事業やIR情報に関する詳細は当社グループポータルサイト (<https://group.kadokawa.co.jp/>) をご覧ください。



このQRコードは、KADOKAWAグループのQRコード&短縮URLサービス「QRouton」で作成しています。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

株式の状況

基本情報 (2024年9月30日現在)

証券コード	9468
銘柄	株式会社KADOKAWA
発行可能株式総数	520,000,000 株
発行済株式数	141,784,120 株
株式の売買単位	100
上場取引所	東京証券取引所プライム市場

株式事務の概要

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。また、下記ホームページでもご案内しておりますのでご利用ください。
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 会社法の改正により、2023年6月開催の定時株主総会より、電子提供制度が実施されました。電子提供制度が実施されますと、株主総会の議決権行使に関する情報は、当社のホームページをご高覧いただくこととなります。なお、招集通知を従来通り、書面でお受け取りになりたい場合は、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)もしくは口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお申し出くださいますようお願い申し上げます(定時株主総会の基準日である3月末までに手続きを完了させる必要がございます)。